

らは出産奨励金支給事業と小学生体操服等購入助成事業に取り組みました。今後も支援の継続と充実に努めます。

教育は、総合教育会議により、市と教育委員会が連携・意思疎通を図ります。園や学校は「スクラム・スクール・プラン」

による「教育観の共有」をさらに深めます。園や学校で抱えている課題を「スクラムスクール運営協議会」で地域とともに考え、解決に取り組みます。

・中学校に市費負担で「しおかせ先生」を配置

・築59年を経過する浜岡中学校の改築に向けた基本計画、基本設計

・公民館の在り方を検討
・子どもたちが感性豊かに成長するよう、子どもと本をつなぐ環境づくり

快適に住み続けられる 生活環境の確保

日本は、気候変動枠組条約第21回締結国会議（COP21）でのパリ協定で、地球温暖化対策として、平成42年度に平成25年度比較で温室効果ガスを26%削減する約束草案を提出しました。これに伴い、市は「地球温暖化対策実行計画」を策定し、まず

は公共施設の照明LED化を進めます。また、エコアクション21の取り組み範囲を、3年後までに消防署や小・中学校へ拡大するとともに、環境に負荷をかけるない循環型社会を作るため、ごみの減量化とリサイクルの推進に努めます。

生活排水対策は、下水道や農業集排水施設、合併処理浄化槽の特性や経済性を考慮して、整備を進めてきました。特に、合併処理浄化槽の整備については、災害に強く、早期に復旧できる特性を持つことで注目されていることから、さらなる普及を推進していきます。

将来、人口減少の加速が予想される中、公共施設は維持管理に掛かる経費が確実に増加していくため、「量から質への転換」を求められています。今後、市営住宅や公園などの公共施設は、各種長寿命化計画に基づき、利用者のニーズに配慮した改修を進め、安全安心で快適に住み続けられるよう、生活環境の確保に努めます。

地域ブランドを生かした 産業・観光の推進

御前崎市場へ水揚げされる魚や肉、野菜、果物など品質の良



い食材が市内で生産されていることを再認識し、この魅力を図内外へ発信することで産業の活性化につながっていきます。

農業や漁業が直面している問題については、課題を精査し、将来を担う若い農業者や漁業者の確保に努め、生産性と所得の向上へつながる1次産業から6次産業への支援体制を整えていきます。

観光は、「御前崎市観光基本計画」を基に、地域の意見を多く取り入れながら、具体的に取り組んでいきます。太平洋沿岸一帯の観光資源を整備し、インバウンド事業による観光客誘致を推進して、交流人口の増加に努

めます。

・御前崎茶の販路、消費拡大事業への支援

・担い手農業者の育成

・御前崎魚市場へのカツオの水揚げ促進を支援

・西駿河湾沿岸市町の広域連携による地域水産物を活用した産業活性化の支援事業

・灯台周辺整備計画の策定

信頼される地域医療と 福祉の充実

地域の医療体制の充実、市民の皆さまが最も必要性を感じている施策と認識しています。引き続き、市立御前崎総合病院の医師確保に全力を注ぐと

もに、中東遠地域を中心とした広域的な医療体制を構築するため、関係自治体や近隣病院との機能連携をさらに強化していきます。

母子保健事業は、今後も母子の健康保持と増進を図るとともに、安心して生み育てる環境づくりに努めます。

・親の育児力を育てる教室

・不妊治療助成の拡充

・ママ安心タクシー利用助成事業の創設

複雑化する社会の中では、今後もさまざまな問題が発生することが予想され、迅速な対応や解決が求められます。そこで、相談体制の強化や関係部署との迅速な連携を図るため、県から譲渡予定のオフサイトセンターを福祉や子育て、健康、介護の拠点施設として整備します。

本市は、開業医が少ない状況ですが、白羽地区に御前崎市家庭医療センターの建設計画を進めています。より安全安心な医療の提供と研修医や医学生の受け入れにより、医師確保につなげていきます。

市立病院と新たに建設する家庭医療センターを核に、信頼される地域医療の構築に取り組めます。

子どもたちの夢と希望があふれるまちに回かって